

2-2-12 第12分科会「秋田の風土と文化を考える(方言・文学・民俗)」

担当者 成田雅樹 受講学生 20名

活動概要： グループごとにテーマを設定し、文献調査、インタビュー等の方法で調査活動をし、結果を絵本、カルタ、動画、スライド、印刷資料等にまとめた。今回はすべてのグループ・個人が方言を中心テーマにして活動した。

活動風景：





受講学生の感想（受講生の受講カードより抽出）

- 以前の例を見て、方言について調べると今まで当たり前だと思っていたことも実は秋田だけだと言うことも見えてきそうだと感じました。今日だけでも「雪やけ」は山形では言わないということを知ることができました。何を目標として進めるか、次までに決めていきたいと思います。（11月4日の感想より）
- 「方言かるた」を作ることになった。「秋田のことば」という本を見てみたら、知らない方言がかなりあった。次回から具体的に活動できると思う。（11月18日の感想より）
- 今日は、使うマンガの一部をどこにするか決め、実際に訳するところまで進めた。しかし、これが意外と難しく、辞書には載っていないものも多かった。自分のフィーリングを信じて訳し、それを授業にしているものか、悩みどころだ。（11月25日の感想より）
- 他グループの報告を聞き、翻訳を主にするグループでは、子どもが興味関心を持つような活動が多く、楽しみながら活動していたのだらうと感じました。また、研究を主に行ったグループは、本当に丁寧に調べていて、それによる発見もあり、聞いていて勉強になりました。（1月12日の感想より）